



平成24年7月1日、「**那須赤十字病院**」として名称を変更し、新病院を開院する予定です。



目次

- ・診療科紹介
耳鼻咽喉科・呼吸器外科・東洋医学漢方 …… 2～3
- ・紹介状をお持ちの患者さんへ …… 3
- ・「がんのつどい」を開催して
—小さな種から大輪の花へ— …… 4
- ・手洗いで健康力アップしませんか …… 5
- ・「がんのつどい」へのお誘い・
救急法ワンポイント講習・献血のご案内 …… 6
- ・日赤ニュース 新病院建設進捗情報 …… 6

基本理念

かかってよかったと思ってもらえる病院に

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくります。
2. 日々の研鑽を惜しまず、医療の質の向上に努めます。
3. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

診療科

耳鼻咽喉科

県北の耳鼻咽喉科医療に貢献していきます。

耳鼻咽喉科部長 馬場 優

耳鼻咽喉科は常勤医2名に加えて非常勤医4名のスタッフで入院・外来診療に当たっています。

現在の常勤医は馬場（H12年横浜市大院卒）、小川（H18年慶應大学卒）の2名です。馬場は耳鼻咽喉科一般、頭頸部腫瘍、小川は耳鼻咽喉科一般を中心に担当しています。

耳鼻咽喉科は鎖骨より上方の頭頸部全般（眼科・脳神経外科・歯科領域を除く）を診療します。当科で扱う器官は、「聴く」「話す」「呼吸する」「食べる」といった人間の基本的営みを行う器官でもあり、人間の五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）のいずれにも関係し、日常生活に深く関わってきます。

当科は地域の中核病院として、入院治療が必要な急性期患者、手術患者、悪性腫瘍患者などの入院治療を中心に行っています。平成23年4月より常勤医が2名となり、平成23年度より日本耳鼻咽喉科学会研修指定病院にも認定されています。特に音声外科

手術（声の質を改善する手術）や、頭頸部悪性腫瘍（がん）に対する集学的治療に関係する科と連携しながら力を入れています。

現在、全身麻酔下手術（火曜午後と水曜午前）を月20件前後、局所麻酔下小手術は月曜午後に適宜行っています。鼻や扁桃の手術などに加え、最近では頭頸部腫瘍、音声外科手術、耳鼻手術症例も増加し、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域全般の手術治療を積極的に行っています。

外来診療は基本的に午前ですが、水曜日のみ手術のため午後の診療になります。また水曜日午後（毎週）と木曜日午後（第1・3週）に補聴器外来（予約制）を開設しています。

当院の耳鼻咽喉科は、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域全般において幅広く診療・治療を行っており、皆様により良い治療をご提供できるよう更なる研鑽を積んでいく所存です。

健康診断で肺に異常がと言われたら、すぐに受診を！ 症状がないからと様子を見ないでください。 症状が無いことが重要なのです。

第一呼吸器外科部長 長井 千輔

肺癌は命取りの病気！

肺癌は命取りの病気と考えられてきました。しかし、小さくても進行の早いものから、進行が緩やかで急いで治療しなくても大丈夫な肺癌もあることがわかってきました。これは画像診断の発達による診断の精度が向上したことによると考えられます。しかし劇症型と言ってよいような進行の早いタイプもあります。肺癌の治療方法についても手術だけではなく、放射線治療、遺伝子治療を含む薬剤治療などがあり、手術に併用された治療、手術を含まない治療など、有効な様々な治療が選べるようになりつつあります。そして、これまでになく治療効果の高い治療薬も開発されており、手術との集学的治療も進化しており、将来は、肺癌を薬と放射線で治療する時代になることも期待されます。しかし、今は肺癌が局所にとどまっている時に手術で切除することが最良の治療法であります。進行度とタイプによっては手術による治療が可能な時代になりました。健康診断で指摘されたら、早期の受診をお勧めします。早期発見、早期治療が治癒率を高める唯一の方法です。必ずしも命取りの病気ではありません。

自然気胸について

自然気胸とは肺に穴が開いて、というよりは肺の表面が裂けて穴が開く病気です。肺が縮んで苦しくなってきます。若者に多い病気ですが、高齢者にも発症します。自然気胸ではほとんどが胸腔鏡手術ですが、中には開胸を必要とする場合もあります。自然気胸の多くは手術してから3～4日で退院です。

最近では細い管を胸の中に入れて、通院しながら手術の必要性を考えることが多くなりました。ただ、安全のために1泊の入院をお勧めしております。

呼吸器外科について

呼吸器外科のイメージはかつて、肺結核でしたが、今は肺癌、自然気胸が外科治療の中心です。肺癌に対する手術方法も様々で開胸手術で行う方法、胸腔鏡（内視鏡）を併用した半開胸手術、胸腔鏡だけの手術と術式が多様になってきました。それぞれに利点、欠点を持ちながら胸腔鏡を用いた手術の比重が増してきている状況です。当科では胸腔鏡を併用した小開胸による一般的な方法をとっています。これは肺癌の手術は確実な切除と安全性を考えて、この方法をおこなっています。肺癌に胸腔鏡手術が行われやすくなった背景には検診の発達があります。早期に発見されるようになったことから小さな手術で治療できる患者さんが多くなっていることがあげられます。当院の呼吸器外科は2人で診療を行っております。すべてを行うことができる状態ではありませんので、さらに充実した施設が必要と考えられる場合には大学での治療をお願いすることもあります。

呼吸器外科を立ち上げてから4年目です。よろしくお願いたします。

お知らせ

呼吸器外科外来は火・木曜日の午前診療を開始しました。予約がある方・紹介状をお持ちの方の診療となります。

呼吸器外科

紹介



より専門性の高い漢方治療の提供を目指して

漢方内科部長 八代 忍

東洋医学漢方

東洋医学科の診療内容は、外来での漢方薬処方を中心です。漢方薬は‘長く続けないと効かない’と思われがちですが、医師が専門知識を駆使して薬を選択すれば即効性も認められ、西洋医学では効果がなかった症状が改善することも珍しくありません。逆に、東洋医学のルールを知らずに症状だけで判断すると、効果が得られないどころか副作用が出現することもあります。当院で東洋医学科を開設したのは、より専門性の高い漢方治療を提供するべきと考えたからです。

現在、診療を担当している医師は八代忍と堀田広満で、二人とも大田原高校を卒業しました。日本東洋医学会の専門医であると同時に、八代は整形外科専門医、堀田は小児科専門医の資格を取得しています。漢方薬だけで効果が不十分な場合は、西洋医学的な血液・画像検査や治療法も積極的に活用しており、当科の外来において西洋薬の併用、ヒアルロン酸の膝関節注射、脊髄へのブロック注射なども可能です。

自費診療ですが、鍼灸治療も積極的に取り入れています。鍼灸治療というと、‘痛い’とか‘怖い’というイメージがありますが、当科では北里大学東洋医学総合研究所の「経絡（けいらく）治療」を導入しています。これは人間が本来持っている自己治癒力を活性化する方法で、髪の毛ほどの太さの鍼を2～

3ミリだけ刺すので痛くありません。鍼灸治療は八代とともに、同研究所で治療経験を積んだ矢吹杏子鍼灸師が担当しています。女性鍼灸師を採用することで、女性にも気軽に受診していただきたいと考えています。

院外活動としては、東洋医学に対する理解や知識を広めるために、一般の方だけでなく、医師・薬剤師に対しても各地で講演を行っています。また、大学医学部では「和漢薬について概説できること」という目標が文部科学省から与えられました。今年も都内の大学の夏期講習で講師を務めましたが、日本全国から多くの医学部生が参加しており、今後は、漢方のことを知っているのは医師として当然、という時代になりつつあります。

東洋医学も「医学」である以上、その効果を科学的に証明することが重要です。われわれは現在も北里大学で診療、研究を続けており、治療方法に困ったときはカンファレンスで指導を受けるなど、同研究所との協力関係を維持しています。これらの活動を通じて、栃木県北の皆様の健康維持に貢献できるよう努力いたします。

（治療対象疾患、診察方法などは <http://www.ohtawara-jrc.com/oriental.html>を参考にしてください）

紹介状をお持ちの患者さんへ

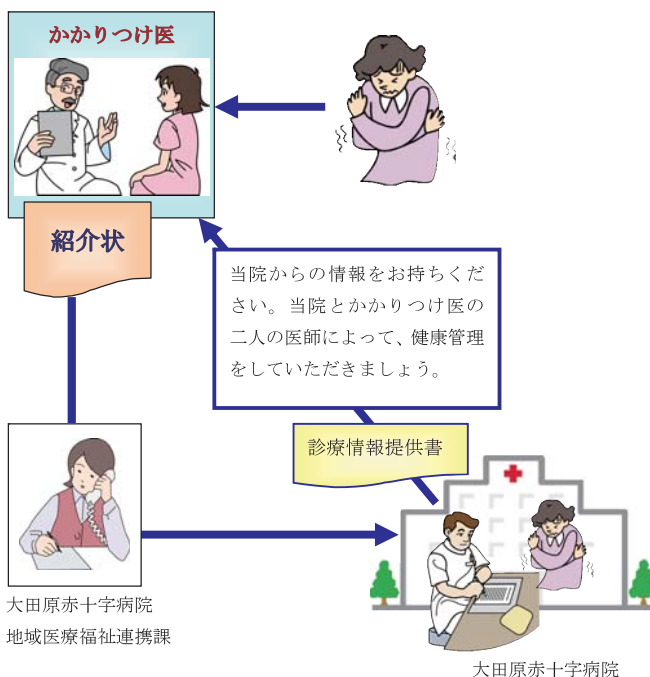
かかりつけの先生や、他の病院の先生から当院宛に紹介をされた場合、早めに地域医療福祉連携課にご連絡の上、ご予約ください。

○ 連絡をするメリット

- ・電話にて専門医の予約を取ることができます（予約がない場合、初診担当医が診療にあたるため、希望される専門医の診療がうけられない場合があります）
- ・直接窓口で紹介状を持って来院するより、待ち時間が少なく済みます。

連絡先

大田原赤十字病院 地域医療福祉連携課
TEL 0287-23-9777（直通）



「がんのつどい」を開催して —小さな種から大輪の花へ—

相談支援室 **水野 恵美**・**白石奈緒美**・**入田 和恵**

現在、日本では2人に1人が「がん」と向き合う時代になりました。

当院は平成22年4月1日に、栃木県がん診療連携拠点指定病院になりました。指定病院として、いくつか求められている役割があります。その中に、“がん患者及びその家族が心の悩みや体験を語り合うための場を設けることが望ましい”や“相談支援に関し、十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に積極的に取り組むこと”が掲げられています。

これまで当院では、相談支援室をいつでも使って下さいというスタンスで対応しておりましたが、待っているだけでは何も始まらないことが、かねてよりの懸案事項になっていました。また、患者さんからの相談の中で、同じ病気を体験した方と話す機会や情報交換をする事を望む声もありました。

「がんのつどい」は、病院全体の取り組みとして、7月2日の開催に向けて、5月に準備を始めました。



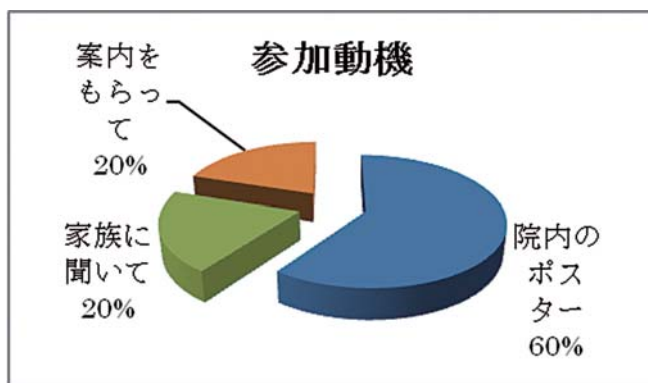
さて、第1回の開催は、募集期間が1ヶ月ほどと短かったため、果たして申し込んでくださる方がいるのだろうかと不安でしたが、申し込みは5名、最終的な参加者は3名でした。初めての事だったので、参加者全員から緊張感が漂う中でスタートとなりましたが、自分の闘病生活について・周囲の人との付き合い方・そばにいて見守る家族の思いなど、普段では話せない思いを共有出来る様になり、お互いが打ち解け合い、和やかな雰囲気の中、会を終了出来ました。

そこで、毎月第1土曜日に開催することにし、院内のポスターを年間計画のお知らせに変更しました。

8月6日開催の第2回目は、参加者が5名。2回目の参

加者3名と、新たな2名でした。1回目と同様に、抱えた思いを表出でき、またそれぞれが持っていた情報で共有する場にもなっていたように思いました。

今後、参加者が増えて、同じがんの体験者同士でお話が出来ようになればいい、患者の会の立ち上げにつながればいいとスタッフ一同願っており、参加者の方々もそう感じていたようです。



初回参加者のアンケートで、参加動機を書いてもらいました。広報の必要性を感じ、院内の掲示や当院のHPでの案内のほかに、大田原市・那須塩原市・那須町・矢板市・さくら市へ広報掲載の依頼をしました。



「がんのつどい」はまだ始まったばかりです。今は小さな種かもしれませんが、やがて院内にばかりではなく、ポスターに使ったヒマワリのように大輪の花を咲かせられればと思っています。

本紙のP6に開催のお知らせを掲載しています。

手洗いで健康力アップしませんか



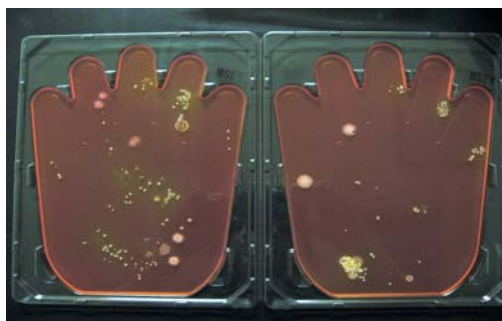
感染管理認定看護師 **藤田 明美**

手洗いは、季節を問わず私たちの生活に必要な行動です。食事の前、トイレの後、自宅に帰ったとき、会社に着いたときなど生活に密着している行動です。そして、精神的にも関係していると思います。手洗い後の爽快感を、日頃感じることはないかもしれません。もし、病気になり行動を制限されたと想像してみてください。お風呂に入りたい、頭を洗いたいと同時に手を洗いたいという欲求がでてくると思います。

また、手洗いをすることで手に付いたバイ菌を80%～

90%は洗い流すことができます。病気に罹りにくくする予防行動です。さらに、病気に罹ってしまったら他の家族にうつさないよう、また、うつらないようにする一番安くて確実な方法です。それには、手洗い方法が大切です。洗い残しが多い場所は、指先、親指、指の間、手首です。下記の手洗い方法を一度行ってみてはいかがでしょうか。日常的手洗いは約15秒行います。「もしもしかめさん」の歌を歌うと丁度15秒です。うがいも同じように大切です。習慣になるといいですね。

水道水だけの手洗い



手洗い前

手洗い後

石鹸と流水で20秒の手洗い



手洗い前

手洗い後

※白の部分がバイ菌です。



病院では、病室に入る前、病室を出た後に、手指消毒薬を手のひらにワンプッシュして良く擦り込みましょう

効果的な手洗い方法

気をつけよう！



オレンジ色に光っているところが手洗いミスを起こしやすい部分です。

STEP 1



両手のひらをよくこすります。

STEP 2



手の甲をこすります。

STEP 3



指の間もよく洗います。

STEP 4



指先は特に入念に洗います。

STEP 5



親指をにぎり洗いします。

STEP 6



手首も忘れずに洗います。

STEP 7



石けんが充分落ちるまで、こすりあわせていたのと同じ時間をかけて濯ぎます。

STEP 8



ペーパータオルで充分に乾燥させます。

「がんのつどい」へのお誘い

がんについて語りあいませんか？

現在、日本では2人に1人が「がん」と向き合う時代になりました。

そんな時代だからこそ、「がん」について一緒に考えてみませんか。

日ごろがんについて思うこと、がんになったからこそわかることなど、同じ思いの仲間と、語り合ってみませんか。

日 時	23年12月3日(土) 24年 1月7日(土) いずれも10時00分～11時00分
場 所	A館4階 会議室
担 当	入田(事務)・水野(看護師)・ 白石(臨床心理士)
費 用	無料
参加要項	がんを患っている患者さん・ がんの患者さんを支えている家族
参加方法	070-6572-4334 [水野] までご連絡ください。

救急法ワンポイント講習

人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED(自動対外式除細動器)の使用方法を学びます。

日 時	12月17日(土) 13時30分～15時30分
会 場	A館5階 講義室
定 員	10名
費 用	100円(保険料)
受講資格	なし
申込み先	社会課 0287-23-1122

献血のご案内

日 時	12月28日(水) 10時00分～12時00分 13時00分～16時00分 (最終受付 15時00分)
会 場	A館5階 講義室
内 容	成分献血、400ml献血、200ml献血
申込み先	社会課 0287-23-1122

+ 日赤ニュース +

新病院建設進捗情報



全 景

●10階建ての本館(免震棟)は、8階まで立ち上がり、11月中には10階まで立ち上がる予定です。

本館(免震棟)3階までの低層階部分の足場が一部解体され、新病院の外壁が見えるようになって来ました。外壁には、タイルが貼られますが、タイルの色はベージュを基調とした温かみのある色合いとしています。

建物の正面、向かって左上には、赤十字マークと那須赤十字病院(平成24年7月1日をもって名称変更)の名称が取り付けられます。赤十字マークには、LED照明を採用し、夜間などに点灯させる計画です。工事中の現在も、照明を点灯させており、夕間に赤十字マークが映える様子が分かります。



建設中の最上部(8・9階部分)



建物内部の様子(手術室)



赤十字マークと那須赤十字病院の名称

大田原赤十字病院広報誌たわら NO.13

発行日 2011年11月

発行者 大田原赤十字病院

〒324-8686 大田原市住吉町2-7-3

<http://www.ohtawara-jrc.com>

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ印刷